



2020 1月号

徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校新聞

ふたばあしあしとあそぶぞう
1月8日、令和2年最初の校長講話があり、後期が再開しました。



新年はじめの校長講話

後期後半は2年生の卒論提出やプロジェクト成果発表会、1年生も1回目の体験学習やプロジェクト計画発表会などがあり、学習活動に一層気が引き締まる期間となります。

中四国プロジェクト発表会

中国・四国地方の各農業大学校など

代表の廣瀬君（校内中間発表時）



徳島農大からは校内の中間発表会を経て農業生産技術コースの廣瀬雄作君と6次産業ビジネスコー

から選抜されたプロジェクトの発表会が、1月21日、山口県で行われました。



代表の山内君（校内中間発表時）

スの山内駿太君が選出され、廣瀬君はインゲン豆の水耕栽培の可能性について、山内君はレンコンの黒皮症対策について、研究の成果をそれぞれ発表しました。

同発表会には1年生の希望者11名も聴衆として参加。各県代表のハイレベルな発表を聞き、これから本格的に始動する自らのプロジェクトのイメージを膨らませていました。

青山ファーマーズマーケット

全国各地から農業生産者が集まり、



渋谷の国連大学前に設けられた販売ブース

自慢の青果物や農産加工品を直接販売する都市型産直市「青山ファーマーズマーケット」にそらそうじやが出店し、4名の学生が販売研修を行いました。

同産直市に出店するのは昨年引き続き2回目となりますが、自分たちの商品を販売しながら、様々な販売プロセスの視察も行い、客を引きつける接客方法や、商品をより魅力的に見せる商品陳列や飾り付けの方法など、多くのことを感じ、学ぶことができました。



参加した4名の学生

今後の販売活動や商品開発に生かせる有意義な研修になりました。

農業6次産業体験学習 1年生

1年生にとって初めてとなる農業・6次産業体験学習が1月24日に始まりました。



大量のトマトの株を剪定中

同学習は、計4週間で4回に分けて行われ、県内の農家や農業法人、食品加工事業所などで職場体験を行いながら、農業や6次産業についての理解を深めます。

卒論提出締切り迫る！（2年生）

学生にとって最大の関門である卒業論文の提出締切りは1月31日午後5時。2年生はプロジェクトの成果を余すことなく盛り込むべく、情報処理室でパソコンとにらめっこの日々が続いています。



真剣な表情で取り組む学生